

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	平成30年11月8日(木) 19時00分から21時00分
会 場	東中野区民活動センター 洋室 1、2号
テ ー マ	ユニバーサルデザインの推進
出席者 区 民	計 9人 (男性4人、女性5人)
区 側	区長 政策室副参事(企画担当) 政策室副参事(基本構想担当) 政策室副参事(ユニバーサルデザイン推進担当) 中部すこやか福祉センター副参事(地域支援担当)
事務局	企画分野職員3人、業務マネジメント改革分野職員1人、中部すこやか福祉センター職員2人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

テーマ「ユニバーサルデザインの推進」 **関係部署 企画分野**

区長あいさつ

今回は「ユニバーサルデザインの推進」という横文字タイトルで、人は来てくれるのだろうか、と不安だったがしっかり皆さんが来てくれたので感謝している。タウンミーティングの主旨としては、各地域をまわって、様々なテーマについて皆さんと語り合うのが目的である。タウンミーティングはみんなでテーマについて考えようというのを目指しているので、テーマについて一緒に深く考えていきたい。今回のテーマは「ユニバーサルデザインの推進」ということで、普段の暮らしのなかで感じている不便なところ、課題などを聞かせてもらえればと思う。

各グループの発表概要

■ユニバーサルデザインについて

- ・「ユニバーサルデザイン」という定義が分かりにくい、「バリアフリー」と何が違うのか分からない。
- ・外国人や聴覚障害者に言葉が伝わる機械があると便利。
- ・最近モラルが下がってきているように感じるが、どのように心のユニバーサルデザインを育てるのか。例えば、シニアと乳幼児が共存していくにはどうしたらよいか。今後、中野区を担っていく小、中学生をどう育てていくか。そういったところを聞きたい。
- ・若いお母さん世代の方に、自分の子どもさえよければいいという方が多い。心地よく施設を使うにはどうすればよいか。

■東中野の地域特性について

- ・東中野区民活動センターにコピー機がないのが不便だから何とかしてほしい。
- ・図書館や児童館などの公共施設がないから建ててほしい。
- ・避難場所がないから不安になる。
- ・坂道が多くて、高齢者が不便。東中野区民活動センターの前にもエレベーターがあるが、案内が分かりにくかった。
- ・手すりがある場所は分かりやすく掲示してほしい。
- ・道路がでこぼこで危険である。
- ・中野駅を中心に開発されていて便利だが、東中野地区は不便である。
- ・区だけで解決できる問題ではないが、東中野駅東口の階段の昇り降りが不便であるため、エレベーターを設置してほしい。

■その他

- ・区民が雑談できるような自由な部屋(憩いの場)が少ないのでつくってほしい。
- ・縦割り行政だと、皆が幸せになれるか不安。
- ・空き家問題の話が出たが、区長から「安心してください」と言われたので、ひとまず今後を待ちたい。
- ・施設について出来上がってから不便さを感じることもある。施設をつくるにあたって意見を言える場が少なかったように感じる。そういう場をもっと設けてほしい。
- ・タウンミーティングを通して、地域の連携を区民と区職員とで作っていききたい。もっと様々な人に来てもらいたい。

発表に対する区長のコメント

■ユニバーサルデザインについて

- ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いについては、ユニバーサルデザインは最初から壁を作らないという考え方で、バリアフリーは今ある壁を取り除いていくという考え方である。
- ・区内在住の外国人は1万人程度であったが、最近は1万8千人ほどになり、住んでいる人が増えている。区としても対応していく必要がある。外国人向けのタウンミーティングを行ってみても面白いかもしれないと思ったので、検討していきたい。
- ・モラルの低下、共存については、自分以外の人も様々な人が暮らしているということを理解することが大事だと思っている。私も地域のごみ拾いに子どもと一緒に参加することがあるが、ごみ拾いをすると、子どもたちもごみを捨てなくなる。学校にお願いしても忙しくてできないという実情がある。現在、学校に調査を行って、忙しさの原因を探ってはいるが、なかなか難しい。だからこそ、地域の大人が子どもと何かをやるのが大切である。区民活動センターがまさにそういう場である。
- ・中野区にも「ふれあいの家」があり、子どもと高齢者の共存を狙いとしていたが、今はその利用時間を区切ってしまう。どうしたら共存できるか、地域の人たちが子どもに気を遣ってもらうにはどうしたらよいかについては、地域の皆さんと考えていきたい。

■東中野の地域特性について

- ・東中野区民活動センターでは、区民団体の地域活動にかかわる資料のみ対象でコピーサービスも行っている。コピー機の利用については区民活動センターの職員と相談してもらいたい。
- ・公共施設が少なくなっていることについては、確かにその通り。ひがしなかの幼稚園については、今後建物を建てる場所が課題になっている。
- ・最近では中野駅周辺ばかり再開発を進めているという意見をいただくがそういったつもりはない。だが、他の地域や周りに目を向けていく。
- ・避難場所については、東中野4丁目、5丁目では第三中学校（現・中野東中学校）の土地が一番大きい。第三中学校は閉校したが、大きい土地なので有効活用していきたい。
- ・坂道については、私も大変だと感じている。坂道以外にも整備されていない道が多い。高齢者が最初の一步でつまづいてしまうようなことがないよう、高齢者に優しい街にしていきたい。また、エレベーターの案内表示についても工夫していきたい。

■その他

- ・縦割り行政については、工夫をしていく必要があると思っている。横串を刺すように調整していきたい。
- ・憩いの場が少ないという意見については、間違いなく受け止めたので、今後検討していきたい。
- ・施設の利用者に質問してみたときに「利用しにくい」という施設があるのは残念。施設を建てる際には、出来上がってから不便さを感じることがないよう、施設を使う人の意見を聞くことが重要であり、意見を聞ける場をもっと設けていきたい。皆さんの意見を聞くことが、ユニバーサルデザインにも繋がっていくと思う。
- ・タウンミーティングは、区民と区職員がフラットに話し合う場。こういう場を設けると、区に要求をする人が多いが、一緒になって考えていく区民が増えると嬉しい。タウンミーティングは2か月に1回やっているの
で、周りの人も誘って、是非また来てほしい。